

主要農作物の生育・出荷状況

令和3年7月28日現在
南会津農林事務所農業振興普及部

作物名	生育・出荷状況
作物	<p>【水稲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂は平年並みの見込みである。 ・一部のほ場でオモダカ・コナギ・ノビエ等の残草が見られるが、その他目立った病害虫の発生は見られない。 <p>【大豆】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種作業は6月中旬に行われた。現在6葉から7葉期。 ・中耕培土が実施され、十分に抑草されている。 <p>【そば】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月中旬から秋そば播種作業が進められており、現時点で出芽良好。
野菜	<p>【トマト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年より3日早い7月7日より共選開始となった。 ・開花花房の進みは平年並み。 ・平年よりも8日早く梅雨明けした影響で、7月4～5半旬は高温・日照時間が確保され、収穫段の進みも順調で草勢は概ね順調。 ・一部ほ場で花落ち、日焼け果や尻腐れ果が目立ち始め、高温障害が懸念される。 ・梅雨明け後、病害（下葉より葉かび病やすすかび病、葉先枯れ病からの灰色かび病）が進展する様子は少ない。かいよう病、茎えそ細菌病が散見される。 ・市場向け販売実績（7/19現在 前年比、3か年対比の順に記載） 出荷量（130%、203%）、金額（127%、200%）、単価（97%、99%） <p>【アスパラガス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半促成栽培は夏芽の出荷が開始している。 ・露地栽培は6月下旬から立茎が開始した。 ・施設栽培にて、アザミウマ類、ハダニ類、斑点病の発生が多発しているほ場が散見される。 ・JA全農福島 市場向け出荷販売実績（7月21日現在） 出荷量 前年対比84%、金額 前年対比95%、単価 前年対比112%
花き	<p>【リンドウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部地区（7月16日時点） かせん早生 草丈 81.1cm（前年比72%）節数 23.8（前年比96%） かせん彼岸 草丈 104.8cm（前年比100%）節数 25.7（前年比95%） 葉枯病、褐斑病、黒斑病、アザミウマ類、カメムシ類少発生。 7/14にかせん早生が初出荷。35円/本程度。 ・西部地区（7月16日時点） ながの2号（早生）草丈 118.3cm（前年比97%）節数 21.3（前年比96%） しなの3号（彼岸）草丈 107.8cm（前年比 85%）節数 28.6（前年比112%） 葉枯病、黒斑病、ハダニ 少発生。出荷は昨年より1週間程度前進。 7/26現在250cs出荷 単価は秀80cmで20～75円/本程度。 <p>【カスミソウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月定植分の生育が遅れ、7/26現在100cs出荷。単価は180～200円程度。 ・ハモグリバエ類中発生、鱗翅目幼虫少発生。
果樹	<p>【リンゴ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南会津中荒井地区「ふじ」の果実肥大は縦径41.7mm（平年比93%）、横径44.7mm（平年比91%）と平年よりやや小さく推移している。

	<ul style="list-style-type: none">・霜害より変形果、サビ果が多くみられる。園地により摘果作業の遅れが見られる。・病虫害の発生は抑えられている。
畜産	<p>【飼料作物】</p> <ul style="list-style-type: none">・永年性牧草2番草の生育は良好で収穫が始まっているが、降雨の影響により収穫に入れない草地がある。